

小説

あおきけんさく
青木健作



周南市
(1883～1964)

青木健作（本名、井本健作）。健作は在郷時代から文学に深い関心を持っていたが、実際の活動は、東京大学を卒業し、「真実なる人生と文芸の対境」という彼の文学宣言ともいえる文章を発表した時点で始まる。それは当時の「疲れた」暗い「都会者」的文学に対し、「疲れない」誠実な「田舎者」的文学を提唱したものである。以後、鈴木三重吉・夏目漱石らに出会い、「虻」「お絹」等の山口県を舞台にした作品を発表。その独自の作風を確立していった。
(桑原伸一)

【主な著作】

『お絹 虻』（現代文芸叢書、春陽堂、大正2年）

『青木健作短編集』（春陽堂、昭和3年）

『明治文学全集』第75（筑摩書房、昭和43年）